

# 平成 27 年度内閣府 地震・津波防災訓練 【静岡県東伊豆町】

実施報告書  
(概要版)



 **内閣府**  
Cabinet Office, Government of Japan

11月5日は津波防災の日



しんじょう君



ちっちゃいおっさん



みなっしー



くまモン



きいちゃん

**津波防災ひろめ隊**  
2015-2016

わたしたちご当地キャラクターが、津波防災の取り組みを多くのみなさんにひろめるお手伝いをします。

## 静岡県東伊豆町について

東伊豆町（ひがしいずちょう）は、伊豆半島東海岸中央部に位置しており、天城山系から連なる山地を背にして北部は伊東市、西部は伊豆市と接しており、南部は河津町と接し、東は相模灘に面しています。

人口は13,144人（平成27年3月末現在）、総面積約77.86km<sup>2</sup>で、風光明媚な地形及び温暖な気候から観光シーズンには旅館、保養施設などに多くの観光客が訪れます。

今回訓練を行った稲取地区では、年に4回、津波防災訓練を含めた各種防災訓練を行っており、行政、住民ともに高い意識をもって防災対策に取り組んでいます。



地図出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：平成27年11月8日（日）午前9時、「静岡県第4次地震被害想定」に基づく、最大クラスの地震が発生。東伊豆町では最大震度6弱を観測し、家屋の一部では倒壊等の被害が発生し、静岡県全域に大津波警報が発表された。町民らは地震発生による身体防御行動の後、津波避難場所への避難行動を開始した。津波は地震発生6分後に第一波を観測し、最終的に最大津波高14mを観測した。
- 実施日時：平成27年11月8日（日）9：00～12：00
  - シェイクアウト訓練 9：00～ 9：05
  - 津波避難・安否確認訓練 9：05～09：20
  - 防災講演会 10：00～10：50
  - 防災展示、防災クイズラリー 10：50～11：30
  - 津波防災啓発イベント 11：30～12：00
- 主催：内閣府、東伊豆町（共催：静岡県）
- 参加者数：554名
- 参加機関：静岡県、自主防災組織、東伊豆町消防署、東伊豆町消防団、下田警察署、陸上自衛隊静岡地方協力本部、防災資機材関係企業、稲取温泉旅館協同組合、稲取高等学校ボランティア部等

## 当日の訓練内容

### 09:00～ シェイクアウト訓練

9時の地震発生とともに、地震の揺れから身を守る行動をとるシェイクアウト訓練を行った。

稲取地区の各家庭、町役場だけでなく、稲取温泉旅館協同組合の協力を得て、宿泊施設においてもシェイクアウト訓練を実施した。

▼シェイクアウト訓練（左：宿泊施設、右：町役場）



### 9:05～ 津波避難・安否確認訓練

自主防災組織が主体となって、自治会ごとに最寄りの第1避難地・避難場所へ一次避難を実施した。各自治会の避難対策に応じ、民間津波避難ビルへの避難や災害時要援護者への避難支援訓練等も実施した。一次避難先では、名簿等を用いた安否確認訓練が行われた。

▼津波避難訓練



▼安否確認訓練



### 10:00～ 防災講演会

自治会ごとにメイン会場へ集合した後、専門家による防災講演会を行った。

講演では、自助・避難所生活の知恵・アイデアについて、事例や実演を交えながら紹介し、地震・津波防災に関する日頃からの対策を呼びかけた。

▼防災講演会の様子



### 10:50～ 防災展示・防災クイズラリー、11:30～ 津波防災啓発イベント

各参加機関による防災展示や、高校ボランティア部生徒による自助のアイデアに関する実演等を行った。また、訓練後は津波防災啓発イベントを実施し、プロのMCやご当地アイドル、静岡県ゆるキャラふじっぴーが津波避難ポーズを紹介するなど、住民の防災意識の高揚を図った。

▼実演見学の様子



▼津波避難ポーズ

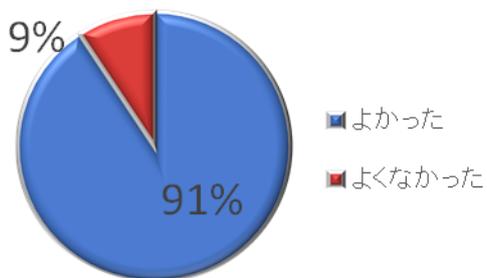


## アンケート結果

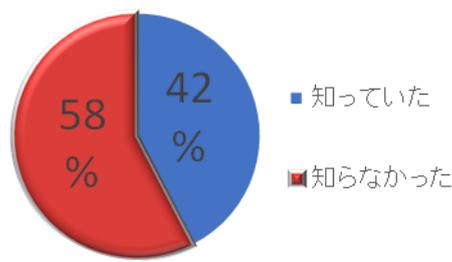
住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。(回答数：187人)

問 訓練に参加して、どう思いましたか？

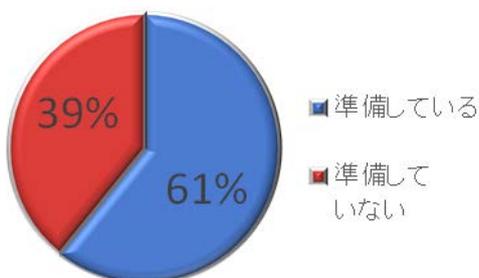
(回答数：162人)



問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？(回答数：177人)



問 地震等に備えて、非常用持出し袋等を準備していますか？(回答数：176人)



## 訓練の評価

訓練当日はあいにくの雨天であったが、当初の見込み参加者数の600人とほぼ同規模の参加者が、メイン会場にて熱心に防災に関する知識学習を行った。稲取地区における本訓練では、次のような点が評価できる。

○これまで稲取地区では避難訓練が中心であったが、知識学習の要素（講演、実演）を取り入れたほか、関係機関の展示協力も得、参加者には学習効果の大きい訓練となった。

○地元の高校生も指導者として参画し、地域の連携を深めることができた。

また、講演者による訓練全体に対する評価や、訓練参加者からの意見として、「熱心な参加者が多かった」「訓練に参加してよかった」、「地域の団結を実感できた」、「すぐに実践できる防災対策を知ることができて良かった」といった評価を得ることができた。

一方で、次のような課題が指摘された。

●地震は動きやすい時間に来るとは限らないため、早朝訓練や夜間訓練等を行う必要がある。